

# 小惑星衝突 地球滅亡



地球に接近する隕石、小惑星はこの数十倍の大きさとなる。

某科学誌

## 人類2割生存可能?

### 衝突時間は、日本時間午後3時

日本時間\*\*月\*\*日、アメリカ合衆国防総省(米国防総省(米国防総省(米国防総省))から来たと思われる。小惑星は木星と同軌道にある、トロヤ群(Trojan)から来たと思われる。軌道予測から衝突は南太平洋上と見られ、直径は推定10キロメートル。約6500万年前、恐竜絶滅の引き金になったとされる天体衝突と同規模。

【10月大惑星衝突】日本時間\*\*月\*\*日、アメリカ合衆国防総省(バージニア州)が発表した内容によると、今回地球に接近中の小惑星は木星と同軌道にある木曜トロヤ群から来たと思われる、小惑星の直径は推定10キロメートル。某科学誌の発表によると

約6500万年前、恐竜絶滅の引き金になったとされる天体衝突と同程度の大きさで見られる。落下地点は南太平洋側と見られ、計測中ではあるものの大きく軌道が外れることはないと思われる。衝突を回避できないかと世界各国が協力して挑戦してきたが、軌道を変更す

るには至らなかった。約一ヶ月後、衝突する。日本時間、\*\*月\*\*日午後3時頃。推定生存率は全人類の2割との情報もある。この記事は、『滅びの前のシャングリラ』という作品内のニュースであり、実際の事象とはなんら関係ありません。

### 滅びの前のシャングリラ

風良ゆう

「明日死ねたら、楽なのにとずつと夢見ていた。なのに、最後の最後になってもう少し生きてみても良かったと思っている。」1ヶ月後、小惑星が地球に衝突する。滅亡を前に荒廃していく世界の中で、「人生をうまく生きられなかった」人々が、最期の時までをどう過ごすのか。『圧巻のラストに息を飲む』2020年本屋大賞受賞作家が贈る新たな傑作。

## 教団施設を家宅捜査

### 波光教幹部、薬物を持ち、逃走か?

\*\*日午後、東京都内で、波光教(はこうきょう)の幹部と思われる男が身柄を拘束された。先月より続く、警視庁による教団への一斉強制捜査では、教祖を逮捕拘束したが幹部ら数名が逃走し、未だその足取りは掴めていない。警察は総力を挙げて幹部らの行方を追っているが、在家信者や協力者が匿うなど、捜査は難航している。幹部数名が逃走の際、教団内で製造した危険薬物を持ち出したという情報もあり、全国で連日厳戒態勢が取られている。

### 中央公論新社

波光教は一般的な新興宗教団体と思われていたが数年前より奇妙な器具をつけたの不可思議な修行出家信者と家族との断絶調査をしていた報道関係者の失踪などが相次ぎ危険団体として警察による監視が行われている。◆◆◆なお、このニュースは、中央公論新社より刊行の『滅びの前のシャングリラ』という作品の中に登場する団体を想像で書いているだけで、実際の人物や団体とは一切関係がない。

LOCO 全国ドームツアー  
~Shangri-La~

歌姫、降臨

LOCO TOUR

kono koukoku-fuu kiji no tour ha, jissai ni okonawareru mono deha gozaimasen. LOCO ha, kaku no artist deari, jituzai no jinbutu to ha nanra kankei gozaimasen. kanojo ni tsuite kuwasiku siritai kata ha douzo hon wo katte oyomi kudasaimese.

**月**日	名古屋 演 ...NAGOYA DOME	先行予約 受付中
**月**日	福岡 演 ...FUKUOKA DOME	SOLD OUT !!
**月**日	北海道 演 ...SAPPORO DOME	SOLD OUT !!
**月**日	大阪 演 ...OSAKA DOME	SOLD OUT !!
**月**日	東京 演 ...TOKYO DOME	先行予約 受付中

\*\*月\*\*日 \*\*:\*\*\*より チケット特別先行予約受付中! 電話番号 \*\*\*-\*\*\*-\*\*\*

この広告風記事のツアーは実際に行われるものではありません。LOCOは、架空のアーティストであり、実在の人物とはなんら関係ありません。滅びの前のシャングリラの登場人物です。詳しく知りたい方は、ぜひ本をお読み下さい。

# 先読み書店員絶賛

## SNS上でも話題騒然

今年の本屋大賞を受賞された風良ゆうさんの新作がとにかくヤバイ！

数多くの本を読んでいる本読み書店員が夢中になった『滅びの前のシャングリラ』

(中央公論新社) この作品を推したい！ 全国の書店員達がざわついている

### 応援書店員からのコメント

人類滅亡まで、あと一ヶ月。破滅が眼前に迫るとき、私はどこまで人間の形を保っていられるだろうと考えずにいられた。なかった。

シャングリラに出来ること、フィクションなら出来るんじゃないかと思つて、更にとこの美しい光景を見せてくれた。この本は一生ものです。

明林堂書店南佐賀店 本間悠さん

本屋大賞受賞後の第一作なんて、すぐハードル上がると思うのですが、でもそれを軽々と飛び越えてきた！風良先生凄い！非常に読みやすいけれど流れるテーマは重い。

それでも辛くない不思議な明るさばかりでも魅力的です。悩みも、将来への不安も、大切な想いも、そして罪も、滅亡という大きな災害の前には全て飲み込まれてしまふ。それは希望のようなものを感じられるのは、それを幸せと呼んでもいいのかもしれない。そんなことを考えながら、ラストの鮮やかさにやられました。阿部千鶴子さん

## 2020年本屋大賞 流浪の月

風良ゆう 東京創元社

こちらもおすすり

理解されなくてもいい、二人でいれば...そこがこの世の果てでも

新型コロナウイルスで世界が一変してしまつた現代に生きる私達。でも神様がもつと最悪なシナリオを書いていたら、この本のよう。人類滅亡の前に何もかも崩壊していく日常。を経験する可能性もあつたのだからか。しかし、日々小さな記事にも恐れおののく私達をよそへ、このような話を産み出してくださる風良ゆう先生には本当に驚かされた。やはり作家つて凄いな。風良ゆうは凄いな。と思わずにはいられない。この体験を早く皆に届けたい。未来屋書店有松店 前田ゆきさん

夢中になつて駆け抜けて読みながら、愛しい気持ちがあふれてくる。なんてロックなんだ。混沌としながらも、魂の共鳴で血が通う世界。コロナ以前に書かれていたのに、今の社会にとてもないエネルギーを放つ。地上の愛を引き連れて。うさぎや矢板店

滅びゆく世界なのに、熱狂が伝わり小惑星の鮮やかな光と熱気とみんなの笑顔が浮かび、最期の輝きがとてきれいだと思つた。宮脇書店ゆめモール下関店 吉井めぐみさん

ある日突然現れた脅威によって日常が失われる。今年まさにこの世界の片鱗を知つた所で、描かれる人間の姿を悲しいほどに納得してしまします。人間は脆くて弱い生きもの。けれど、その先の彼らの姿は全く想像できないものでした。滅亡というものが、こんなにも切なく美しい人間の姿なのかと、優しく希望の光を見せられて来る気持ちでした。滅びなんてはもつと幸せに生きていけるのかも。山田恵理子さん

2020年を生きた全人類、この本を知つてほしい。全ての眩しくて、壮絶で美しいこの終焉をたくさんの人に見てもらいたい。勝本書店新一の宮店 中西若葉さん

ものすごい作品を読みました。これは本屋大賞2連覇も十分ありうる。死が確定した世界で自分はどう生きるのか、何を考え、どう行動するのか、最期の瞬間をどこで誰と過ごすのか。こんなのも書けるのか。風良ゆう：すげえな。！ 明屋書店厚狭店 小椋さつきさん

当たり前だった日常は本当に簡単に崩れるんだ。今なら分かる。生と死、悲しみと喜び、醜さと美しさ。全てが入り混じつたこの物語で見る最後の光景は眩しに溢れていた。強い生命の煌めきに溢れていた。うさぎや宇都宮駅東口店 矢口留利さん

強者も弱者もみな平等に残される時間、人生の帳房合わせがされる機会を与えられた時間。地球滅亡というダークな世界観かもしれないが、私には再生への物語のように思えた。いや、そう願わずにはいられない。あ、今日も何もせず一日が終わつていく。なんて言っている自分がどだけ日々を大切にしていなかったか思い知らされた。明林堂書店ゆめタウン大竹店 船川梨花さん

小惑星が地球に衝突するということ。非常事態になり常識が常識ではなくなつた時。果たしてひとはどう生きるのか。絶望の中に孤独を見出すのか。それとも他者との絆を深めるのか。最後の瞬間を迎えるその時まで目が離せず圧巻のラストでは心が震えるほどの感動が待つていた！ 水嶋書房くずはモール店 井上恵さん

気が付くと滅びへと向かう世界に自分自身が投下されていく。物語へと惹き込まれる力が凄い！もしも現実には隕石衝突となつた時、お願いだから各国の政府首脳陣、公表しないでくれと心底願つてしましました。沢山の方に受け入れてもらえる作品だと思つています。沢山の方に届けたい！この素晴らしい話を語り合いたい！ここまで人に勧めたい本と出会えた事に感謝です！ 文真堂書店ビバモール本店 山本智子さん

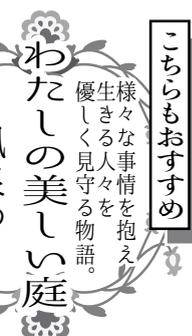
あの『流浪の月』を生み出した風良ゆうさんの新作ということで、正直かなりハードルを上げて拝読しましたが、もう想像以上。まさに圧迫的！頭の前までどつぷりと物語に引き込まれ、心臓が早打つような衝撃を受けました。人類滅亡というカウントダウンが進む混沌とした世界で、精一杯もがき続ける登場人物たちと、絶望の中にあるほんの一寸の希望。ただ生きるのではなく今を生きて。こんな時代だからこそ読んで欲しい。否、読むべき1冊です！ 文苑堂書店新湊店 鳥山孝治さん

みんながみんな同時に死を迎える。どうなるだろう。こんな風に強生きられるだろうか。できれば私も息子と娘と好きな人たちと一緒にいつも通りご飯を食べ笑い合いながら終末を迎えたい。この世の終わりが近づいたとき僕たちの初めにシャングリラ(理想郷)を訪れた。誰もに同様に死が近づいた時、人は何を求めるのか。人のあり方が現れる問題作。水嶋書房くずは駅前店 栢田愛さん

呼吸をするのも忘れてしまふほど没頭できる作品に、この先いくつ出会えるだろう。これからはもつと何度でも、私はこの作品を読み返すだろう。そしてそのたびに肩を震わせながら涙を流し、胸いっぱい大きな光を感じるのだ。言葉にできないくらい、素晴らしい。生み出してくれたことに感謝。それしか言えない。柳正堂書店甲府昭和イトリヨード路店 山本久美さん

読んでいる間ずっと、この話は近い未来の世界の事なのではないかと言ふ不安と、実際こんな事になったら自分ならどうするだろうと考へたり。映画を観ているような感覚でした。『なにが』が生まれる事を信じた。書泉グランデ 布川路子さん

こんなにも書けるのか。風良ゆう：すげえな。！ 明屋書店厚狭店 小椋さつきさん



こちらの思惑を軽く越え、本当に本当に素晴らしく、感動にうち震えてしまい、読んだ後しばらく放心状態だった。人生において幸せを掴みそこねた4人が寄り添つて「家族」となつていく過程がロードムービーを観ているよう。あと少しで世界に終わりが来るのに、いや来るからこそその、何でもない普通の幸せへの渴望と欲求をまざまざと見せつけられて。今、このままでもいいのか。凄いいものを読んでしまった。その一言につける。死を目前にして、こんなにも希望に満ち溢れた小説があつただろうかと。閉塞感が今だからこそ、是非手に取つて読んでほしい。きつと雲の間からの光が見える。希望を感じ取れる。水嶋書房金剛駅店 浦辺千栄子さん